

広報版

信濃小中学校だより そよげわか竹

実り多し～米作り～（4年生）

今年も、地域の皆さんに助けをいただきながら4年生みんなで米作りに取り組みました。



風間さん、プロの仕事ははやい！

田植え最高！ 鳥山 俊好

ぼくが、米作りの中で一番楽しかった活動は田植えです。ぼくは、最初うまくできなくてぼくのだけ育たないと思っていました。でも、講師の方々がいてねいに植え方やコツを教えてください、とてもやりやすかったです。ぼくたちが田んぼの中に入ったところから、田んぼの水はすごく冷たくて気持ちよかったです。意外と深くてびっくりしました。ぼくの中では、うまく植えることができました。

成長しきった稲を見たとき、ぼくのもちゃんと育っていてうれしかったです。

田植え 細川 咲希乃

四年生みんなで米を作ることにって田植えをしました。講師の方に教えてもらいながらやりました。

やり方は、まず三本とってそのまわりを、根がきちんとまるまると入れてやりました。どれくらいまで



上手に植えたよ



どろリンピック、みんなでおいごっこ



お米を守ってね。かかし1号



クログワイ撲滅

植えるのかを考えるのが大変でした。あと、稲と稲の間の長さをきちんと見てどれくらいがいいかなど、よく考えました。あんまり近すぎるのはなれすぎるのもだめだから、きちんと調整しながら植えていきました。わたしが思っていたよりも、田植えはむずかしかったです。

大変だった稲かり

清水 詩人

今日、学校で稲かりをしました。田植えよりも上がりしました。理由は、みんながどろだらけになって、協力し合って稲をかけたからです。ぼくもがんばりました。お母さんたちも手伝ってくれたので早く終わりました。

やっているとちゅうでイモリを見つけてきました。おなかがおレンジ色ですごくかわいかったです。それからアオガエルも見つけました。特ちょうは、大きくて背中にある青い青色があつてとてもきれいでした。目もすごくきれいでした。ぼくたちの田んぼにはたくさん生きものがいました。



どろだらけの稲かり

小西 季生

今日稲かりをしました。どんどんかっついてきました。六束くらいできた時、どろにはまってぬけなくなっしまいました。早くもどろでよごれていました。でも、詩人さんが助けてくれたのでよかったです。その後もたくさんかれました。

干す時、五、六束一気に持つてみました。すごく重たかったです。みんなと協力して全部終わってよかったです。

もみすり

瀧澤 杏華

もみをするのはよかったですけど、もみからと米に分けるのがすごく大変でした。友だちは、ひとつぶひとつぶ分けていたり、ペットボトルのキャップを使って分けたり、ペットボトルの中に入れて押しながら分けたりと、みんな自分で思いついた工夫をしていてすごいなと思いました。

しめなわ作り

飛岡 暖乃

しめなわ作りは生まれて初めてだったのでやってみたらすごく大変で



昔の道具は難しいな

した。最初にくつとくつ下をぬいでだしになるなんておどろきました。

手と足を両方動かしてなわを作っていくことがむずかしくてできなかったけれど、小林さんや小川さんが教えて下さったのでできました。大変だったけれど出来上がりました。

自分たちで草取りをしながら作ったお米は無農薬。だから、四年生の田んぼにはたくさん生きものがくらしています。虫やどろが初めは苦手だった子どもたちも、いつの間にかたくさん生きものと親しみ、道路を歩くようにどろの田んぼを歩き回れるようになりました。

ふるさと信濃町の田んぼでの活動を通して、たくさん経験の積み重ね、心身ともにたくましくなった四

年生です。

四月の温湯消毒から、脱穀、精米まで地域講師の皆さんにたくさん教えていただき、言葉を交わしました。米作りを通して、地域の皆さんと親しくなれたこと、大きな財産になりました。風間昭一さん、柳本裕史さん、齊藤寛紀さん、小林貴代さん、子どもたちのために何度もご指導くださり、本当にありがとうございました。



おいしいおもちになりました



米作りの楽しさを知らせよう